

第9期 第5回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 令和4年(2022年) 11月21日(月曜) 午後7時から午後8時

〔会場〕 市役所 第一庁舎 4階第1会議室

〔出席者(敬称略)〕

委員:

- ・アスマ スルタナ
- ・汪 穎
- ・片山 フィオナ エリザベス
- ・洪 玉英
- ・フロール カラビア サンティアゴ
- ・劉 国相

事務局: 山本人権文化政策監、堀山人権政策課参事兼課長、片岡課長補佐、

笹部男女・多文化共生係長、野邊

〔傍聴者数〕 2名

〔会議内容〕

開会

案件1. 前回の会議の振り返り

→ 資料1 「第4回外国人市民会議のまとめ」を用いて、前回の内容について振り返り

案件2. 第9期外国人市民会議の報告書について

→ 報告書の作成スケジュールについて説明

資料2 「第9期外国人市民会議 報告書(案)」の内容について説明。過去の会議で出た意見のうち提案1～9において、外国人が担い手として活躍できることについて意見交換

○提案1. 世界のクイズ大会

- ・ 国際交流センターの貸室等を使って実施を想定。外国人と日本人で実行委員会を作り進めていけたら。外国人同士でもお互いの事を知らない。また日本の事を日本人よりもよく知っている外国人もいる。クイズ形式で交流を行うことで、共通点や違いに気づきながら、違いはあるが同じ人間であることを気付くことが出来る機会になる。

○提案2. 日本語を活用したディスカッショングループ

- 日本語が上手な人同士でディスカッションを行う場が必要。子育て、医療、住宅など様々なテーマでグループを作り、日本人と外国人混合の交流の場を作ることができれば。
- 日本語検定1級を取った後の外国人の居場所はどこか。検定を取ったら終わるのではなく、活用していく、深めていくことに意味がある。趣味などについて話し合うことで、新しい発見があるかもしれない。

○提案3. ミニ留学や、オンラインを活用した文化交流

- 目的は交流の場を作ることにある。互いを知り合うことが大切。個人同士、家庭同士で交流ができれば、お互いに相手の国の事を知る機会となる。
- 日本に限った話ではないが、自分の国から出たことが無い人が多い。そのため、ミニ留学などを通して文化交流をすることに意味がある。地域の外国人にボランティア登録してもらい、対応が可能な時間をリストアップして日本人とマッチングする。公民館などでイベントとして活動するのも良い。仕事と違うところで、地域のためのボランティア活動を行うことは、外国人にとっても一つのやりがいになると思う。
- 国際交流センターの中で日本人の子どもを見かけることは少ない。オンラインの日本語教室などを実施して、日本人と外国人の子どもの交流の機会になればいい。

○提案4. メタバースを活用した語学教室

- メタバースの実施自体は費用が発生するため予算が必要。その場で言語交流や国の紹介などもできる。出来ることは沢山ある。

○提案5. 地域と、市や国際交流センターを繋ぐ支援窓口

- 地域自治に外国人が参加することで、外国人へ向けたイベントを地域ごとに行うことが出来る。地域ごとに外国人支援の窓口を作り、国際交流センターを中心に運用していく。そ

それぞれの地域に合った方法で進めていけばいいと思う。

○提案6. 標識の多言語化等によるまちの国際化推進

- 地域の協力で、国際的な雰囲気のマチをつくっていく。グローバル化の中で生きる自分たちにとって、新しい世代を教育する視点でも大事なことである。

○提案7. 高齢者向けの外国語教室

- 地域の高齢者のために外国人が活躍できるものである。高齢者との接し方や認知症に関する研修や、講師の準備等は必要である。ある一定の謝礼も準備しないと行けない。この事業を担う人をどう育てていくかは課題。
- 高齢者の日本語は難しい可能性がある。間に入って助けてくれる通訳、日本語が上手な外国人などが必要な可能性がある。
- 実施出来れば外国人と日本人双方の自信の向上につながると思う。外国人と日本人の間をサポートする人は必要。

○提案8. ヒューマンライブラリー

- 小学校で国際理解の授業を行う際に、ボランティアとして紹介できる。また、大人でも文化に興味がある人が利用し学ぶ機会を作ることでもできる。誰もが様々な国のことを学ぶきっかけを作ることが出来れば。

○提案9. 外国人コミュニティの紹介・登録制度

- 引っ越してきてすぐにつながることが出来ればよい。一定数、自分から地域や外国人に繋がりたいと思う人はいるかもしれないが、災害などの緊急の時のためにとりあえず繋がりをしておくことは大事。とにかく一人にはならないように。市が市内にある外国人等のコミュニティを把握し、引っ越してきた人へ向けた情報提供が出来れば。それが地域と繋がるきっかけになれば尚良い。

○その他意見

- ・ 今挙げられている 9 つの提案は、4 つの分野に分けることができる。提案 1～3 は「交流」について、活動を通じて繋がって継続的に交流していくことが求められている。提案 4、7、8 は「教室」で、居場所としての役割を持っている。提案 5、9 は「支援」、外国人の所在を把握したり繋がりを作ることが中心的となっている。提案 6 は「環境づくり」で、外国人が地域で済みやすい環境を作っていくことが必要である。4 つの分類ごとに、何か一つずつ事業を実行できれば、重ならずにより良い事業実施になると思う。
- ・ 提案 1、5 はこのなかでも実現しやすいと感じる。それぞれの提案に対して、交流の重要性の高さを感じている。お互いに理解しやすい環境を作っていくことが大事。

案件 3. その他

- 報告書の作成、市長報告、次回会議の日程調整について事務連絡

へいかい
閉会